

入院診療計画書

やわたメディカルセンター

CP000873 様
病名・症状:
担当看護師:
総合的機能評価:

入院日: 年 月 日 病棟: 号室
パス名: 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
担当薬剤師: 担当栄養士:

西暦 年 月 日
西暦 年 月 日
患者様・ご家族様サイン

日 月 日
日 月 日
看護師:

期間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経過	看護計画	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日	術後2日	術後3日	術後4日	術後5日	術後6日	術後7日
看護計画	P	非効果的行動計画リスク状態	非効果的行動計画リスク状態	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)急性疼痛	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)急性疼痛	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)	非効果的消化管組織循環リスク状態(出血)
達成目標	P	麻酔、手術、麻酔について理解できている十分な種痘がとれる	手術に臨むための身体的、精神的準備が整っている病状、手術、麻酔について理解できている	術後安静について理解できている手術を訴えることができる手術による合併症がなく、状態が安定している	手術による合併症がなく、状態が安定している痛みのコントロールができている	手術による合併症がなく、状態が安定している痛みのコントロールができている	手術による合併症がなく、状態が安定している	手術による合併症がなく、状態が安定している	手術による合併症がなく、状態が安定している	手術による合併症がなく、状態が安定している	手術による合併症がなく、状態が安定している
活動・安静	P	病院内の歩行は自由です 	病棟内の歩行は自由です	トイレ以外はベッド上安静です 薬の影響でふらつくことがあります 心電図モニターを装着します 翌朝まで酸素吸入を行います 	胃カメラで胃腸がなげれば、検査とモニターを外します トイレのみ歩行しても構いません 弾性ストッキングは終了です	活動食開始となれば病棟内の歩行は構いません 	5分程度以上で院内の歩行は自由です				【退院後の生活について】 退院後1週間は安静に過ごしてください それ以降は適度な運動は可能です 1か月後に胃カメラを行います。それまでは重い物を持ち上げ、無酸素運動(ゴルフ、ジョギング、水泳など)や出張や旅行などは控えてください
内服	P	服用されているお薬を確認します (中止が必要な場合があります)	常用のお薬の中で、服用が必要な薬(心臓・血圧などを調節)に内服します。	レントゲン・胃カメラの確認後に、飲水の許可があるまでは何も飲まないでください 確認後に、朝・昼・夕・寝る前に飲み薬(アルロイドQ)があります	アルロイドGに加え、内服薬が追加されます						【退院後の生活について】 お薬は毎日忘れずに飲みましょう
注射	P	9時より 左手に点滴を開始します 	点滴は24時間持続で行います 	点滴は24時間持続で行います 	点滴は2本目終了後(16時ごろ)一旦外します 	点滴は日中9時すぎり行います 	点滴は日中のみです 	点滴は日中のみです 	点滴終了後、針を抜きます 		
検査	P		午後から検査室に着替え、ESD(内視鏡的胃粘膜切除術)の呼び出しがあれば内視鏡室に移動します	ESD終了後、レントゲン撮影を行います 	早朝に病室で採血を行います 午前中にレントゲン撮影があります(車椅子でレントゲン室まで行きます) 胃カメラがあります 呼び出しがあれば内視鏡室に行きます					早朝に病室で採血を行います 胃カメラがあります 呼び出しがあれば内視鏡室に行きます 	
教育・指導・説明等	P	ESDまでに薬剤師より、使用するお薬について説明があります 	弾性ストッキングをはきます うまげけないときは看護師がお手伝いします	手術後は痛みや苦痛など我慢せずにお知らせください	痛みなどの苦痛は我慢せずにお知らせください	退院するまでに栄養士から退院後の食生活について説明があります (おおよそ全粥食のみに説明を行います、日にちが前後することがあります) 栄養士からの話については、できる限り普食食で食事を作られている方の同意をお願いします 					再診日について説明します 【退院後の生活について】 恋愛な履物・下着(赤黒っぽい色)など気になる事があれば、早めに病院に連絡しましょう 
食事	P	通常のお食事です 21時以降は絶食です 特別な栄養管理の必要性(有 無) 	朝食は欠食です 7時まで飲水(水・お茶・スポーツドリンク)のみできます 7時以降は絶食になります 	絶食です 	主治医の許可があれば水分を飲むことができます 飲んで良いもの: 水・お茶・スポーツドリンク 飲んではいけない水分: コーヒー・粒々の入ったジュースなど	朝から流動食が始まります 冷たい物、熱いものは一気に飲み込まずに、一口ずつ口の中で噛むようにゆっくり飲みましょう 胃の働きを助けるために食後の安静が大切です 	朝から流動食3分粥食となります 濃湯にご飯粒が少し入ります 副食は刻んだものができます 	朝から濃粥食5分粥食となります 副食は普通の形態です 箸で食べやすく、よく噛んでゆっくり食べてください	朝から濃粥食7分粥食となります 検査後より濃粥食全粥食となります 副食は揚げ物などの油料理ではなく、焼く、蒸すなどの料理が中心となります 消化に時間がかかる海藻、こんにやくなどは控えています。よく噛んで食べましょう 	朝から濃粥食軟飯食となります 【退院後の食生活について】 箸を利用する食品は控えましょう カニ・イクラ・ロール・梅の漬物・香辛料の入った料理などは控えましょう 消化のよいものを食べるようにしましょう 栄養素がバラバラな食生活にならないようにしましょう 	
清潔	P			体を蒸しタオルで拭いて、着替えを行います 		5分程度以上でシャワー浴しても構いません 		全粥食以上で入浴しても構いません 			